

『年報 公共政策学』投稿規程

『年報 公共政策学』編集委員会*

(趣旨)

第1条 この規程は、北海道大学公共政策大学院（以下「本大学院」という。）における教育・研究並びに実践の成果を広く社会に公表することを目的として、本大学院の『年報 公共政策学』編集委員会（以下「編集委員会」という。）が編集し、本大学院が発行する『年報 公共政策学』（以下「本誌」という。）への投稿の取り扱いについて定めるものとする。

(投稿資格)

第2条 編集委員会は、次の各号に掲げる者に投稿資格を認める。

- (1) 本大学院の専任教員
- (2) 本大学院附属公共政策学研究センター研究員
- (3) 本大学院の在学生

2 編集委員会は、前項各号に準ずる者からの申出を受け、審査の上、投稿資格を認めることがある。

(投稿原稿の種別と要件)

第3条 編集委員会が受理する投稿原稿は、次の各号のいずれかとする。

- (1) 研究論文
- (2) 研究ノート（書評、翻訳を含む）
- (3) リサーチペーパー（本大学院の在学生が作成し、指導教員が推薦したもの）

2 投稿原稿は、別に定める「執筆要領」に即してMS Word形式で作成された和文又は英文のもので、未発表かつ未投稿のものに限ることとする。編集委員会は、以上の要件を満たさない投稿原稿は受理しない。

(投稿の方法)

第4条 投稿者は、投稿原稿及びそれをPDF化した見本を、「投稿申請書」とともに電子メールに添付して編集委員会（nenpo.office@hops.hokudai.ac.jp）に送付することとする。

2 投稿者は、投稿原稿が本誌に掲載され出版されうること、HUSCAP（北海道大学学術成果コレクション）等ウェブサイト上で公開されうること、並びに本誌の出版又はウェブサイト上での公開の対価は請求できないことを承諾した上で投稿するものとする。

3 編集委員会は、毎年4月1日から9月30日まで投稿を受け付け、当該期間以外の時に受信した電子メールに添付された原稿は投稿原稿とは認めない。ただし、投稿原稿のうち第2条

* 北海道大学公共政策大学院 E mail: nenpo.office@hops.hokudai.ac.jp

第1項(2)に該当するもの以外で、第5条第2項に該当する場合は、この限りでない。

(掲載の可否決定)

第5条 編集委員会は、投稿原稿につき、選定した複数の査読者による査読の結果を踏まえ、本誌掲載の可否を決定する。

2 編集委員会は、投稿原稿を査読に付すことなく本誌掲載の可否を決定する場合がある。

3 査読に付された投稿論文は、本誌掲載時にその旨を明記する。

(校正)

第6条 編集委員会が本誌掲載可と決定した原稿の校正は、原則として再校までとし、投稿者は初校と再校のいずれにおいても、形式面での修正を施すにとどめるものとする。

2 投稿者は校正を行うに際し、編集委員会が設定した期限を厳守しなければならない。編集委員会は、校正期限を守らない投稿者の投稿原稿の本誌掲載を取りやめる決定を行うことがある。

『年報 公共政策学』執筆要領

『年報 公共政策学』編集委員会*

1. 分 量

図表・脚注・参考文献リスト等を含め、和文は上限20,000字（英文は上限10,000語）程度とする。

2. 書 式

(1) 書式設定

- ① 用紙サイズ：A4判（ただし、冊子版はB5判になることに注意）
- ② レイアウト（余白）：上（40mm）、下（32.5mm）、左・右（それぞれ25mm）
- ③ 頁設定：1頁38字×36行、横書き1段組み（ただし、行事レポート、活動報告について、冊子版は2段組みとする場合がある）
- ④ 頁番号：各頁の下部中央に、通し番号を半角数字で付ける。
- ⑤ フォント：本文のサイズは10.5pt、和文はMS明朝、英文はTimes New Romanを使用するのが原則とする。

(2) 全体の構成

- ① 表題（フォントサイズは16ptとし、中央揃えにする）
- ② 執筆者の氏名（12pt、中央揃え、脚注に所属・職位等とメールアドレスを記す）
- ③ 本文（10.5pt）・脚注（10pt）、図表等
- ④ 引用・参考文献（10.5pt）
- ⑤ 英文タイトル（18pt）、英文要約（10pt、上限250語程度）、英語キーワード（5語程度）

(3) 提出形式

本文と図表はともに白黒・B5判印刷に適應できる形で作成し、図表を本文に挿入する場合は、その箇所に当該図表を実際に貼付の上、オリジナルの図表と元データ（MS Word、Excel等）を別途添付する。

3. 執筆者名等

- (1) 執筆者の氏名はフォントサイズを12ptとし、中央揃えにする。
- (2) 執筆者名の右肩に*、**等の記号を付け、その下の脚注に所属・職位等とメールアドレスを明記する。
- (3) 執筆者が北海道大学公共政策大学院の在学生等の場合は「北海道大学大学院公共政策学教育部専門職学位課程（第〇期）」と記し、修了生の場合も期数を付記する。フォントサイズは

* 北海道大学公共政策大学院 E mail: nenpo.office@hops.hokudai.ac.jp

脚注と同じ10ptとする。

4. 本文

- ① 節・項：半角数字を用いて、「1.」「1.1」等と記す（フォントはArialかゴシック）。
- ② 英数字：半角文字を用いる。
- ③ 句読点：「、」「。」「（ ）」「＝」等の記号は、全角文字を用いる。
- ④ 年号：原則として西暦を用いる。和暦を用いる場合には、西暦の後ろに括弧書きで添える。（例）2022（令和4）年
- ⑤ 外国名：通常の用法に従い、「和文表記（英文表記：略称）」とする。和文表記が無い場合は、「英文表記（略称）」とする。（例）北海道大学公共政策大学院（Hokkaido University Public Policy School：HOPS）
- ⑥ 数式：独立した数式には、式の末尾に数式番号を振る。括弧の順序は、[{ () }]とする。

（例）
$$C = a + b\{Y(K, L) - T\} \quad (1)$$

- ⑦ 脚注：番号は本文の該当箇所の右肩に「1）、2）」と通し番号で付ける。フォントサイズは10pt、行間は固定値16ptとする。2行以上になる場合は、2行目以降は1文字分下げる。

5. 図表・写真

- (1) 投稿者の責任において電子データで作成し、投稿原稿とともに提出する。
- (2) 大きさに応じて1/4頁大（400字相当）、1/2頁大（800字相当）などと字数換算してカウントする。
- (3) 図には図1（英文原稿の場合はFig.1）と通し番号を入れ、図番号とタイトル、出典等の説明を図の下に書く。表には表1（英文原稿の場合はTable 1）と通し番号を入れ、表番号とタイトルは表の上に、出典等の説明は表の下に、それぞれ書く（下記の例を参照）。写真は図として取り扱うものとするが、図の掲載方法に準じ、独立した通し番号を付しても差し支えない。写真には撮影者を明記すること。

表1. 私立大学の募集定員

図1. 国内総生産の推移

（出典）内閣府経済社会総合研究所編
『国民経済計算報告（2002年度）』
（注）季節調整済み

（出典）『蛍雪時代』1975年新年臨時増
刊号
（注）括弧は「または」を意味する。

- (4) 他の著作物から複製した図表の掲載は、原則として認めない。
- (5) 図表は、文字や説明記号の大きさ、線の太さ等の、刷り上がりサイズでの見やすさに配慮して作成する。その際、見本のPDFにおいて文字化けがないかを執筆者自身が確認した上で投稿すること。

6. 引用・参考文献

- (1) 引用文献については、脚注を用いて、もしくは、本文中に「著者名（刊行年）、所在頁」を表記し、参考文献リストに列記する。
（例1）脚注を用いる場合：〈本文〉...³⁾。〈脚注〉3) 佐藤（2000a）、pp. 2-10
（例2）本文に記す場合：〈本文〉...（佐藤（2000a）、pp. 2-10）。
- (2) 参考文献リストは、著者名（アルファベット順か50音順）、出版・発行年、論文名、書名・雑誌名、出版社名、巻号、所在頁の順で記載する。
- (3) 和文文献は、書名・雑誌名を『』で、論文名を「」で括る。欧文書名・雑誌名はイタリック体にする。
- (4) 同じ著者のものは年代順に並べる。同じ著者の同一年代のものは、引用順に a、b 等を付して並べる。また、同一著者の複数の文献を記載するときは、2 つ目以降には執筆者名の代わりに「——（4 倍ダッシュ）」を用いる。2 行以上になる場合は、2 行目以降は 1 文字分下げる。
- (5) 写真や図表を他の文献から引用・転載する場合は、執筆者自身の責任において行い、引用・転載元を明記すること。

7. 英文要約・キーワード

- (1) 英文要約は、フォントサイズを10.5pt（タイトルは18pt、太字、行間は固定値25pt、執筆者名は12pt、太字、中央揃え）とし、上限250語程度とする。「Abstract」は太字、中央揃えとする。なお、改行はせず、必ず1段落にまとめること。
- (2) 英語のキーワードは、5語以内で要約の末尾に記す。「Keywords」は太字、中央揃えとする。
- (3) 執筆者自身で英文校正を済ませた上で投稿すること。

なお、本稿は本誌の執筆要領に則っているもので、投稿原稿はこのテンプレートにあてはめて作成するのが望ましい。投稿原稿作成に当たっては、これまでの号（<https://www.hops.hokudai.ac.jp/research/public-policy-studies/>）の書式もよく確認すること。掲載原稿につき、必要に応じて編集委員会が表記統一など修整を施す場合がある。不明点については編集委員会（nenpo.office@hops.hokudai.ac.jp）に照会のこと。

Rules and Guidelines for Submitting to the Annals, Public Policy Studies

HOPS Annals Editorial Board

Abstract

This article describes the rules and guidelines for submitting to the *Hokkaido University Public Policy School (HOPS) Annals, Public Policy Studies*. Contributors are asked to follow them by putting their articles into this template so as to avoid rejection by the editorial board. The annals are published at the end of every fiscal year to showcase results of educational and research activities at HOPS and contribute toward studies on public policy. Abstracts are written in simple but neat English, using a 10.5-point font, and in a single paragraph with a limit of 250 words. The abstracts are expected to explain the theoretical and practical new observations compared to the previous findings. These must be proofread in advance and the expense will be borne by the contributors.

Keywords

Rules and Guidelines for submission, editorial board, public policy, publication, proofread